



神奈川県
川崎図書館

令和3年度

要 覧



ものづくり情報ライブラリー

神奈川県立川崎図書館

基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

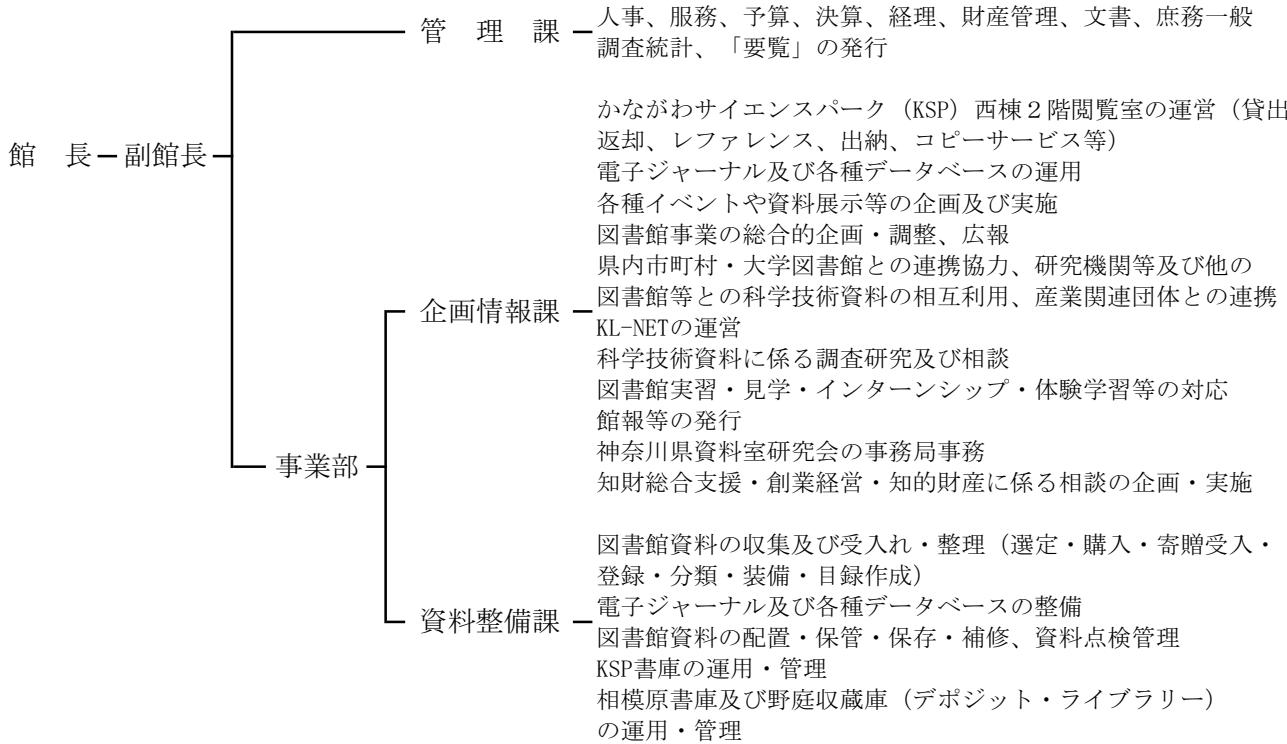
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

目 次

1 組 織	1
2 沿 革	2
3 施設の概要	4
4 令和3年度 県立川崎図書館の取組み	6
5 令和3年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	10
6 予算・決算	11
7 令和2年度 事業の概況	12
8 令和2年度 講座等実施状況	26
9 令和2年度 県立川崎図書館の活動評価	30
事 業 統 計（令和2年度）	
第 1 表 部門別蔵書冊数	35
第 2 表 逐次刊行物保有状況	35
第 3 表 電子ジャーナル等資料の保有状況	35
第 4 表 開館日数・入館者数	36
第 5 表 レファレンス件数	36
第 6 表 書庫内資料の利用数	37
第 7 表 電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数	38
第 8 表 個人貸出登録者数	39
第 9 表 個人貸出冊数	39
第 10 表 リクエストサービス	39
第 11 表 複写サービス	40
第 12 表 講習会・講座・講演会等	40
第 13 表 知財総合支援相談	41
第 14 表 視聴覚資料の貸出状況	42
第 15 表 他の図書館等への貸出状況	42
第 16 表 年度別蔵書冊数	43
第 17 表 年度別入館者数・個人貸出冊数	43
館 内 案 内 図	44

1 組織 (令和3年4月1日現在)

(1) 組織図



(2) 職員の構成

区分	館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主任司書	主事	司書	小計	臨時司書	任用職員	会計年度	合計	備考
館長・副館長	1	1								2				2	
管理課				*	1			3		4		3		7	*副館長が管理課長職を兼務
事業部	企画情報課		1	1	1	1	1		2	7	3	14		24	部長を含む
	資料整備課			1	1		1			3	2	7		12	
部 計			1	2	2	1	2		2	10	5	21		36	
合 計	1	1	1	2	3	1	2	3	2	16	5	24		45	
司書有資格者数			1	2	2	1	2		2	10	5	21		36	

2 沿革

昭和	33	年	11	月	1	日	神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）をもって設置 （所在地：川崎市川崎区富士見2-1-4）
					同		神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）改正により2課3係制
					同	12月20日	落成開館式を挙行
昭和	34	年	1	月	12	日	開館し、館内閲覧業務を開始
					同	3月20日	附属機関の設置に関する条例（昭和28年条例第5号）に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
					同	5月15日	商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
昭和	35	年	1	月	13	日	社会人に図書の館外個人貸出しを開始
					同	4月20日	小中学生を対象に図書の館外個人貸出しを開始
					同	7月1日	図書資料の複写サービスを開始
昭和	36	年	4	月	16	日	視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
昭和	39	年	5	月	1	日	自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
昭和	40	年	9	月	1	日	高校生に図書の館外個人貸出しを開始
昭和	42	年	1	月	16	日	書庫を増築、川崎市から取得
昭和	44	年	7	月	16	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
昭和	45	年	8	月	18	日	移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
昭和	46	年	2	月	25	日	特許庁により公開公報閲覧所に指定
					同	6月2日	神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
					同	7月1日	理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
昭和	47	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）が施行され3部7課制
昭和	49	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
昭和	53	年	11	月	17	日	開館20周年記念「図書館まつり」開催（19日まで）
昭和	55	年	4	月	1	日	図書館協力車事業本格運行を開始
昭和	57	年	12	月	16	日	1階改修工事により障害者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
昭和	58	年	4	月	1	日	神奈川県科学技術文献相互利用を開始
昭和	59	年	3	月	31	日	工場巡回自動車文庫（工場巡回文庫、青雲文庫）を廃止
					同	4月1日	神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）が施行され3部8課制
					同	12月1日	国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
昭和	60	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会とが統合され、神奈川県図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
					同	9月19日	改修工事（空気調和設備全面更新、その他改修）のため休館
昭和	61	年	4	月	19	日	改修工事完了のため開館（60年9月27日～61年3月23日仮設図書館開設）
平成	元	年	2	月	15	日	開館30周年記念式典を挙行
平成	2	年	4	月	24	日	県立図書館において神奈川県立図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）一部稼働
平成	3	年	4	月	16	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）全面稼働
平成	4	年	3	月	31	日	団体貸出しを廃止
平成	5	年	1	月	21	日	特許検索用CD-ROMを導入
					同	3月31日	理工学文庫を廃止
平成	8	年	9	月	17	日	特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
平成	10	年	1	月	7	日	リニューアル工事のため、全館休館（4月15日まで）
					同	4月1日	神奈川県立図書館組織規則改正により、3部7課制。リニューアルオープン
平成	12	年	3	月	1	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
平成	13	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
					同	6月5日	ITコーナー（インターネット一般公開）開設
平成	14	年	4	月	1	日	図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
平成	16	年	4	月	15	日	生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
平成	17	年	4	月	15	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
					同	10月1日	ビジネス支援室（1階）を開設

平成	18	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2部6課制
		同					やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー（1階）、化学文献室（地下1階）を開設
		同			9	月 19	日 生態学コーナー（1階）を開設
平成	19	年	10	月	12	日	ビジネス情報クイックコーナー（1階）を開設
平成	20	年	9	月	12	日	サイエンス・ナウ（Science Now!）コーナー開設
		同			11	月 13	日 開館50周年記念式典を挙行
平成	21	年	3	月	31	日	生態学コーナー（1階）を廃止
平成	22	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により1部4課制
平成	24	年	3	月	31	日	知的所有権センター認定要領廃止（名称は継続使用）
		同					ビジネス情報クイックコーナー（1階）を廃止
平成	26	年	6	月	25	日	「社史フェア2014」を初開催（27日まで）
平成	27	年	9	月	11	日	社史コレクションがテレビ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系列）で放映
平成	29	年	10	月	1	日	かながわサイエンスパーク（KSP、川崎市高津区坂戸3-2-1）への移転準備のため一部休館（1階ビジネス支援室の供用休止、貸出・予約・リクエスト等休止）
		同			11	月 22	日 入館者数1,000万人を達成
		同			12	月 1	日 KSPへの移転準備のため平成30年5月14日まで全面休館
平成	30	年	4	月	1	日	KSPに移転
		同					神奈川県立図書館組織規則改正により1部3課制
		同			5	月 14	日 移転再開館記念式典を挙行
		同			5	月 15	日 「ものづくり情報ライブラリー」として再開館
		同					公共図書館として初めて、海外の電子ジャーナル・データベース（IEEE、Scopus）を導入
令和	元	年	11	月	21	日	開館60周年記念講演会を開催
令和	2	年	3	月	4	日	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部サービス（閲覧室の利用、資料の閲覧等の利用）の休止
令和	2	年	4	月	12	日	特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ臨時休館
令和	2	年	5	月	27	日	国における緊急事態宣言解除に伴い、仮設カウンターを設置し予約貸出及び返却のサービスを再開
令和	2	年	6	月	9	日	県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドラインに基づき、閲覧室の座席削減や入場制限などの拡大予防策を講じた上で閲覧サービスを再開
令和	3	年	1	月	12	日	国の緊急事態宣言を受けた「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」に基づき、平日の開館時間を午前9時30分から午後7時までに変更
令和	3	年	3	月	22	日	国における緊急事態宣言解除に伴い、平日の開館時間を午前9時30分から午後7時30分までに変更

3 施設の概要

(1) 建物

名 称	使用開始年月日	延床面積	所 在 地
かながわサイエンスパーク 西棟	平成29年10月1日	1,308.000㎡	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 かながわサイエンスパーク (KSP)
かながわサイエンスパーク R&D棟	平成29年10月1日	1,182.710㎡	同上
相模原書庫	平成30年2月1日	130.305㎡	相模原市南区当麻2650-22
野庭収蔵庫	平成15年4月1日	1,491.840㎡	横浜市港南区野庭町1660
合 計	—	4,112.855㎡	—

(2) 建物の内訳

ア かながわサイエンスパーク (KSP)

(ア) 西棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

(イ) R&D棟 同上

イ 相模原書庫 鉄筋コンクリート造

ウ 野庭収蔵庫 同上

(3) 西棟

ア 施設 2階 閲覧室、ディスカッションルーム、知財スポット
カンファレンスルーム、コンサルティングルーム
合計座席数140席

イ 収蔵資料 (令和3年4月1日現在)

図 書 約65,000冊
雑 誌 (専門雑誌最新号) 約1,000タイトル

(4) R&D棟

ア 施設 2階 事務室、書庫A、書庫B

イ 収蔵資料 (令和3年4月1日現在)

図 書 約29,000冊
雑 誌 (上記(3)イの雑誌タイトル数を含む) 洋 394タイトル
和 5,578タイトル

(5) 相模原書庫(外部書庫)

ア 施設 4階 アーカイブセンター内

イ 収蔵資料 (令和3年4月1日現在)

図 書 約126,000冊

(6) 野庭収蔵庫(デポジット・ライブラリー)

ア 施設	北棟 3階	事務室 書庫 (雑誌)
	北棟 4階	書庫 (図書・雑誌)
	南棟 4階	書庫 (雑誌)
	計22室	

イ 収蔵資料 (令和3年4月1日現在)

図 書	約41,000冊
雑 誌	洋 1,798タイトル
	和 281タイトル

4 令和3年度 県立川崎図書館の取組み

(1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与する。

(2) 基本方針（平成30（2018）年度～令和3（2021）年度）

「ものづくり技術」を支える機能に特化した専門的図書館として利用者のニーズに応えるとともに、SDGsの理念をふまえ、人生100歳時代に向け、県民一人ひとりの生涯にわたる「学び」や社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

ア 県立図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完しあいながら県立の図書館として一体的な運用を行う。

イ 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築き、「調査研究活動」を支援する図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつける。

ウ 「ものづくり技術」の高度化や、技術開発のバックアップという県民のニーズに応えるため、ものづくり技術関連資料の収集を一層強化し、電子ジャーナル等による最先端の情報から専門書、知的財産・規格資料まで、「ものづくり技術」を「学び、活かし、拓く」資料等の収集、提供を積極的に行なう。

エ 県内産業関係団体、県内産業技術教育機関、県内試験研究機関、市町村図書館・大学図書館・高校図書館と密接な連携を図って、知的財産等に係る支援、相互の周知啓発活動、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。

オ 所蔵資料を活用した館内展示や各種講演会、講座、子ども実験教室、ものづくり支援相談などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。

カ 生涯を通じた「学び」と研究を可能にするために必要な資料、情報を、適切かつ快適な環境で提供するとともに、利用者がICT（情報通信技術）を活用できるよう、機会をとらえ県民の情報リテラシー向上を支援する。

また、「知の機会の提供」に加えて「研究成果の活用」の支援拠点としての機能を果たすことに力を注ぎ、人生100歳時代の「人づくり・社会づくり」に寄与する。

キ 図書館利用に障がいのある方々に配慮し、図書館の設備、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。

ク 図書館活動について常に「P<計画>→D<実施>→C<点検（評価）>→A<見直し>」のサイクルで業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。また、県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。

(3) 令和3年度 重点的取組み

- ア 「新しい生活様式」における円滑な図書館運営の実現
来館者がコロナウイルス感染症に感染しないよう万全な対策を講じながら、基本方針に基づき、県立川崎図書館の魅力や役割等を実現するためサービスを円滑に提供できるように努める。
- イ 県内産業団体等との連携の強化
「ものづくり技術」の支援を促進していくため、県内産業団体・企業や産業技術の教育機関等との連携の強化に努める。
- ウ 電子ジャーナル等の利用の促進
公共図書館で全国に先駆けて導入した電子ジャーナル等の電子情報の有用性の周知に努め、講演会や出前講習会などを実施し、利用促進を図る。
- エ 特許・規格・社史の収集強化
「ものづくり技術」を支える資料としての特許・規格を含む科学技術資料群を充実するとともに、全国有数のコレクションである社史の収集・整備を進める。
- オ 資料利活用のための保存機能の強化
貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわたる利活用を保障するため、資料の保存対策を検討、実施する。
- カ 行政支援サービス
神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、特に県内試験研究機関や高校図書館へ資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。
- キ レファレンスサービス
レファレンスツールとなる資料の集積や、職員による電子ジャーナル等の活用を図る。併せて、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。また、サービスの内容やその成果についての広報を強化し、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。
- ク 県民の「学び直し」を応援
人生100歳時代に向け、図書館が生涯を通じた「学び」と探求のきっかけづくりや県民の「学び直し」を支援するため、「大人の理科教室」などの講座を開催する。
- ケ 図書館利用に障がいを持つ人々へのサービス
全ての人々が、利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内などの整備に努めるとともに、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の基本的な考え方に基づきサービスの向上を目指す。
- コ 図書館専門職員の人材育成
県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組むとともに、経験者選考で採用された職員のノウハウも業務運営に反映するよう努めていく。
- サ 各事業の着実な実施及び広報・情報発信の強化
新たな利用者層を掘り起こすためのPRメディアとして、ポスター、チラシ、ホームページ等を活用する。また、自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種のメディアを使って情報発信に努める。

(4) 図書館活動の数値目標

令和3年度は、次の数値目標を達成することを目指す。

ア 社会教育施設評価書の全館共通評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
利用状況	① 利用者満足度	98%	利用者にアンケートを行い、満足度を調査
	② 入館者	90,000人	年間入館者数
	③ 教育・普及事業への参加者	1,400人	研修、講座や知財相談等の参加者数
	④ インターネットアクセス	1,200,000件	ホームページのアクセス件数
資料・収蔵品	⑤ 活用	1,200点	展示または各種メディア等で紹介した資料点数
	⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	書き込み、切り取りや汚破損など資料の棄損件数を減少させる(記述項目)。
調査研究	⑦ 研究成果の公開	40件	職員の日ごろの研究活動及び研究成果に関する文献等の執筆件数、研修会及び研究集会での発表件数
情報発信	⑧ 事業情報の発信	300件	定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数
施設運営等	⑨ 観覧料及び事業等収入(図書館は除く)	—	—
	⑩ 施設点検	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	だれもが等しく利用できる図書館を目指す(記述項目)。
	⑪ 自己研鑽及び他館の研究	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数(記述項目)

イ 川崎図書館の個別評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
資料収集 ・整備	① 社史等の収集	516 件	社史と逐次刊行物の新規寄贈数
	② 破損等資料の修理 件数	100%	書き込み、切り取りや汚破損などを発見 した資料のうち修理したものの割合
資料・情 報の提供	③ レファレンスサー ビス	4,100 件	カウンターでの口頭、電話、メール・文 書によるレファレンス件数（県機関、県 立学校等を含む。）
	④ 貸出数	27,000 件	個人利用者への貸出冊数
	⑤ 書庫内資料利用数	34,000 件	書庫の資料を提供した件数
	⑥ 複写枚数	125,000 枚	コイン式コピー、電子ジャーナル等のプ リントアウト、郵送複写等
連携・ 協力事業	⑦ 行政支援サービス	500 件	県機関、県試験研究機関や高校図書館等 への資料提供冊数
	⑧ 県内市町村図書館 等への貸出冊数	6,200 冊	県内市町村図書館等への資料提供冊数
	⑨ 県外図書館等への 貸出冊数	210 冊	県外図書館等への資料提供冊数
広報・ 普及活動	⑩ テーマによる資料 展示回数	70 回	テーマによる資料展示を行った回数
	⑪ 視察・見学会等実 施件数	60 件	視察や見学会、職業体験、インターンシ ップを受け入れた件数
	⑫ 各団体・機関への 広報実施件数	50 件	産業団体や外部機関等へ出向くなど、川 崎図書館を広報した、あるいは該当団 体・機関の持つ広報手段を活用した広報 件数
図書館運 営の条件 整備	⑬ 自己研鑽及び他館 の研究	300 人	スキルアップに寄与する内部・外部の研 修や講座の参加者延人数

5 令和3年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

生涯学習 機会の 提供	(1) 資料収集・整備	ア 資料・情報の収集	(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑・年報、論文集等)の収集	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書、事典等の参考図書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。	
			(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。	
			(ウ) 会社史、経済団体史等の収集	会社史・経済団体史を、寄贈等により積極的に収集し、社史コレクションの充実を図る。	
		イ 資料・情報の整備	(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ・DVD等の収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生に関するビデオ・DVDを収集する。	
			(ア) 資料の整理、点検、修理、製本	資料点検、修理製本等を行い、常に適正な状態で資料を利用提供できるよう管理する。	
			(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースのKL-NETに加え、CiNii Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。	
			(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備	県立図書館と共同して、神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を収集し、その索引データをKL-NETに入力して、県民が地域情報を迅速かつ広範囲に検索・入手できる環境を整える。	
		ウ 書庫・収蔵庫の運用	(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理	随時書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。KSP書庫(主に雑誌)及び相模原書庫(図書)に保管する資料について、適切な維持管理を行う。	
			(イ) 野庭収蔵庫(科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー)の運用・管理	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭収蔵庫に保管し、データを公開して、利用に供する。	
	(2) 資料・情報の提供	ア 基本的サービス	(ア) レファレンスサービス		ものづくり技術分野に関する科学技術資料及び会社史資料に関する様々な質問について、迅速かつ確かな対応を行う。特に、規格や特許については当館独自の分野であるので、市町村職員対象の研修会やレファレンス協同データベースへの登録で、当館のノウハウの伝達にも努める。
			(イ) 閲覧、登録、貸出(視聴覚資料含む)、リクエストサービス		2つのカウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。研究者や技術者、ビジネスユースの利用者のために、雑誌のバックナンバー等の大量納品にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全・労働衛生ビデオ・DVDは団体貸出を行う。
			(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス		館内で図書や雑誌の文献複写ができるようコピー機を設置している。郵送による文献の複写や自宅での図書の受け取り等、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。
			(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス		最先端科学情報へのアクセスができるScopus(世界最大級の抄録、引用文献データベース)等を提供するとともに、基本情報を入力する手段であるJDreamIII・CiNii(科学技術に関する論文検索)、日経アレコン(新聞記事検索)、JP-NET・J-PlatPat(特許検索)も提供する。
			(オ) Wi-Fi利用サービス		Wi-Fiを導入し、利用者が所有する端末からインターネット接続ができるようになっている。
		イ 特色あるサービス	(カ) 障がい者サービス		全ての人々が図書館において必要な情報が入手できるように、拡大読書器の提供や筆談対応、図書の郵送貸出しサービスを行う。
			(イ) ものづくり情報の提供		ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の専門的な図書・雑誌を提供し、科学技術情報の普及に努める。
			(イ) 知財関係情報等の提供		特許関係の図書・雑誌を提供する。専門家による相談事業を行い、「知財スポット」を活用した知財情報の普及に努める。
			(ウ) 社史情報の提供		約20,000冊の会社史を所蔵している。社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。
			(エ) ものづくり入門資料等の提供		ものづくり技術に関する入門的な資料を「ものづくり入門コーナー」に集約して提供し、一般の利用者のものづくり技術への理解や関心を促進する。
	(3) 連携・協力事業	ア 連携・協力	(ア) 図書館情報ネットワークの推進		県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。
(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進				都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。	
(ウ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進				県立高校の図書館や県内の大学図書館などへ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。また、電子ジャーナル等の利用促進のために、大学等への周知・広報を行う。	
イ 関係団体等業務		(エ) 行政支援の推進		各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービス等を行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。	
		(ア) 神奈川県資料室研究会は、県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知財部門で構成されている館種を超えたネットワークであり、例会の開催や、ニュースと年報の発行をサポートする。令和3年度は60周年記念の事業を実施する。			
(4) 広報・普及活動	ア 広報活動	(イ) 知財関係団体等との連携		知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援をするために、県内知的財産関係機関が相互に連携を強化する。弁理士会等との連携により、相談、交流、セミナー事業を行う。また、技術士会、中小企業診断士会等との連携に取り組み。	
		(ア) 展示等の実施		当館所蔵資料と自作パネルや他からの借入物と組み合わせ、「ものづくりギャラリー」や協力機関等での展示を開催する。時宜に合うテーマを選び、当館の魅力発信の場として実施する。館外でのPRにも努める。	
	イ 講座等開催事業	(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応		図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、大学生インターンシップや司書資格習得のための図書館実習を受け入れ、将来の人材育成に貢献する。また、高校生・中学生の職業体験や見学希望を受け入れる。	
		(ウ) ホームページの運営		展示や講演会などのイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の出番(ログ風の記事)」、県立の図書館の公式ツイッターなど、生き生きとした情報発信に心がける。	
		(ア) 展示関連イベントの開催		展示を当館の広報の中心と位置づけ、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。	
ウ 刊行物の発行	(イ) ものづくりカフェの開催		平成18年度から開催を続け、気軽に科学技術の専門家と語り合える場として人気のイベントであるサイエンスカフェを引き継ぎ、ものづくりカフェとして開催していく。		
	(ウ) 各種イベントの開催		資料の調べ方講座、図書館ガイダンス、子ども科学実験室、大人の理科教室等魅力的なイベントを開催していく。		
(5) 図書館運営の条件整備	ア 運営状況の点検・評価	(ア) 館報「ものづくり文化」の発行		当館の館報「ものづくり文化」を刊行する。来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館等に配布する。	
		(イ) 定期刊行物		社史情報紙「社案」を発行している。また、当館の事業等の報告をまとめた「要覧」を発行している。	
	イ 施設の整備	(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営		両図書館の長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施しているが、両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員研修機会としても機能させる。	
		(イ) 活動評価の実施、公表		図書館活動について「計画-実施-評価-見直し」の持続的な運営改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。社会教育施設評価書の全館共通評価項目及び当館の個別評価項目の2体系で活動評価を行う。	
		(ウ) 利用調査の実施		図書館の利用実態を把握するために、県立図書館と共同して来館者対象にアンケート調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。	
ウ 新たな図書館像等の検討	(エ) 職員の研修		館内整理目を活用して、司書職員の資質向上のための研修機会を設ける。県図書館協会の研修をはじめ、各種研修に積極的に参加し、その成果を共有して、全職員のレベルアップにつなげ、利用者の満足度向上を図る。		
	(オ) 職員の研究と発信		情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援し、研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿や、研究成果の発表・発信に結実させ、川崎図書館職員全体の能力向上を図る。		
		(ア) 施設管理、維持修繕、備品整備		図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜原状復帰を図るとともに、利用者には快適な施設環境を提供し、利用促進のための諸施設の整備を行う。県立川崎図書館の業務の運用に係る効率的な経費の執行を行う。	
		(イ) 環境マネジメントシステムの推進		環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮を行う。	
		(ア) 魅力ある新たな図書館像等の検討		県立図書館等と連携し、魅力ある新たな県立の図書館像及び資料利活用のための保存機能強化の検討を進める。	

6 予算・決算

(ア) 令和3年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	181,247,000	賃借料、共益費 168,251,000	
	財源内訳	雑入	1,000,000	複写サービス
		立替収入	20,000	複写機電気料金立替収入
		一般財源	180,227,000	
	図書館事業費	23,802,000	高度先端技術情報・専門資料の提供 21,805,000 講演会等の実施・連携 1,997,000	
	財源内訳	雑入	58,000	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	23,744,000	
	計		205,049,000	
	財源内訳	雑入	1,058,000	
		立替収入	20,000	
		一般財源	203,971,000	

(イ) 令和2年度決算見込

(単位：円)

事業名	細事業名	決算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	201,308,806		
	財源内訳	雑入	394,260	複写サービス等
		立替収入	11,079	複写機電気料金立替収入
		一般財源	200,903,467	
	図書館事業費	19,657,077	資料・情報整備費 14,454,822 産業資料充実費 1,123,922 講演会及び調査相談事業費 4,078,333	
	財源内訳	雑入	770	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	19,656,307	
	整備事業費	122,217,900	旧図書館除却工事費 119,874,900	
	財源内訳	一般財源	122,217,900	
	計		343,183,783	
	財源内訳	雑入	395,030	
立替収入		11,079		
一般財源		342,777,674		

(参考) 川崎図書館費の推移

(単位：円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	R2/H28	
当初予算額	維持運営費	29,784,000	29,579,000	18,628,000	18,395,000	205,917,000	691.4%
	図書館事業費	19,758,000	18,884,000	19,988,000	20,299,000	20,299,000	102.7%
	整備事業費	-	630,704,000	199,334,000	379,909,000	138,956,000	皆増
	計	49,542,000	48,463,000	237,950,000	418,603,000	365,172,000	737.1%
決算額	維持運営費	23,996,259	23,458,745	15,153,839	13,546,636	201,308,806	838.9%
	図書館事業費	20,690,055	18,526,160	19,500,022	19,672,253	19,657,077	95.0%
	整備事業費	-	465,852,694	187,390,105	233,869,853	122,217,900	皆増
	計	44,686,314	41,984,905	222,043,966	267,088,742	343,183,783	768.0%

7 令和2年度 事業の概況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年であった。開館やサービスの体制は、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」等に基づき、臨時休館や閉館時刻繰り上げ、イベントの中止などの対応を行った。その結果、来館者数は前年度に比べ減少することとなった。

年度末には図書館システムの再構築に係る作業を行い、新システムは令和3年4月9日より稼働している。ホームページも、レスポンシブウェブデザインを取り入れるなど一新し、利用者にわかりやすくなった。

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 対応の変遷

令和2年度は、本県においても新型コロナウイルス感染症が流行し、2回にわたり「緊急事態宣言」対象地域となるなど、その対応に追われた1年であった。

館の開館やサービスの体制は、「新型コロナウイルス感染症対策の神奈川県対処方針」「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」及び「特措法に基づくまん延防止等重点措置に係る神奈川県実施方針」に基づいて対応した。

令和2年3月4日からの一部サービス停止に始まり、下記のように臨時休館、閉館時刻繰り上げなどを行った。「県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドライン」に基づく「県立川崎図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策マニュアル」を6月3日に策定し、6月9日に万全な拡大予防策を講じた上で一定の条件の下で再開館した。

新型コロナウイルス感染症への対応に係る開館状況等

当館の動き		概要	県、国の動き
令和2年 3月4日(水) ～4月11日(土)	サービス一部停止	臨時窓口(仮設カウンター)	緊急事態宣言 (4/7～5/25)
4月12日(日) ～5月26日(火)	臨時休館	宅配貸出等は実施	
5月27日(水) ～6月8日(月)	サービス一部停止	臨時窓口(仮設カウンター)	
6月9日(火)	再開館	飛沫感染防止シート設置等	
令和3年 1月12日(火) ～3月21日(日)	閉館時刻 平日19:00 (30分繰り上げ)	講座、イベントについては、オンライン対応以外は原則中止	緊急事態宣言 (1/7～3/21)

3月22日(月) ～3月23日(火)	閉館時刻 平日 19:30 (通常)	講座、イベントにつ いては事前予約制	段階的緩和期間 (3/22～3/31)
3月24日(水) ～4月8日(木)	システム更新作業および 館内整理によるサービス 休止	カンファレンスルー ム(20席)は開放	リバウンド防止期間 (4/1～4/19)

イ 具体的な感染症予防対策

- ・ 入口や館内の掲示等により、マスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底及びLINEコロナお知らせシステムを来館者に周知し、館内放送で呼びかけ。
- ・ 入館時に職員が非接触型体温計による検温を実施、後に、サーマルカメラを導入(1月5日)。
- ・ ソーシャルディスタンスの確保(座席を間引く、カウンター前床面に表示等)。
- ・ 館内滞在人数を制限(80人)。また、長時間の利用は避けていただくよう掲示等で案内。
- ・ カウンターは、アクリルパネルやビニール等で覆いを被せ、対応する職員はマスク、手袋を着用。
- ・ 定期的な座席等の清拭及び公開雑誌カバーの清拭の実施。
- ・ 来館者の利用の都度、職員がコピー機、キーボード、マウス等のアルコール消毒を実施。
- ・ 返却本は、一定期間が経過した後、書架に戻す。
- ・ 座席等で閲覧された資料を所定の返却台に戻すよう案内。
- ・ 本の除菌ボックスを設置(10月13日)。

(2) 資料収集・整備

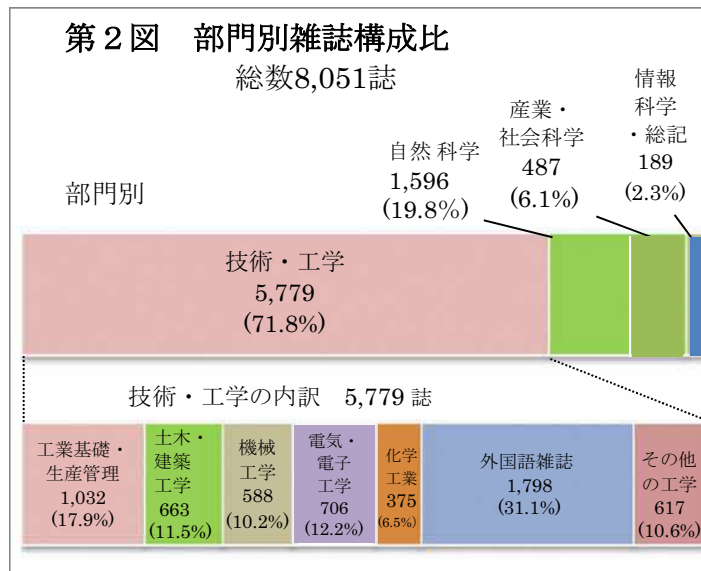
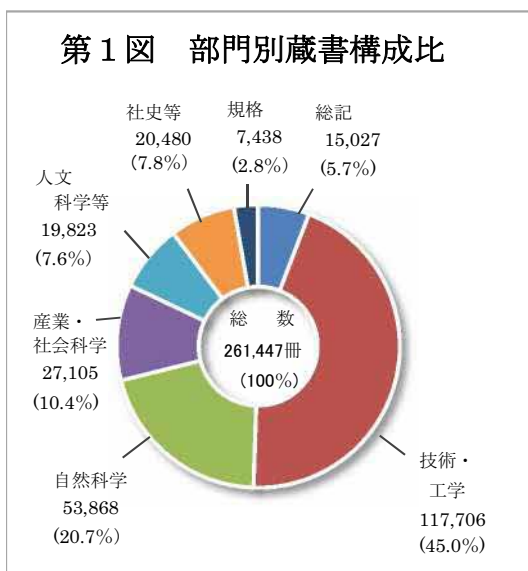
ア 資料・情報の収集

(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑・年報、論文集等)の収集

a 図書

令和3年3月末現在の蔵書冊数は261,447冊(前年度260,103冊)で総冊数は前年度に比べて1,344冊の増加となっている。図書の部門別蔵書構成比は第1図のとおりである。受入れ冊数1,517冊(前年度1,978冊)のうち58%が寄贈によるものとなった。

また、亡失図書や汚破損図書について、計18冊の除籍を行った。加えて、県立図書館と重複している等不用となった年鑑・年報をはじめ、不用図書150冊を除籍し、県立図書館へ5冊の管理換え等を行い合わせて、払出し冊数は173冊(前年度2,531冊)となった。(p.35 事業統計第1表 参照)



b 逐次刊行物類

雑誌類の令和3年3月末現在の所蔵タイトル数は8,051誌(前年度8,051誌)となっている。これは、購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌を含んでおり、継続受入誌はこのうち1,342誌(前年度1,463誌)である。主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁・企業等の発行する科学・技術専門雑誌などを収集している。

外国語雑誌の所蔵タイトル数は内数として2,192誌(前年度2,188誌)で、その内訳は、購入2誌、野庭収蔵庫保管分(デポジット・ライブラリー)1,798誌、日本化学会等からの寄贈389誌等となっている。雑誌の部門別構成比は第2図のとおりである。なお年々電子化される雑誌が増えてきており、雑誌の外数扱いで電子ジャーナル・データベースの内訳の一部としてカウントしている。

短期の保存期間が満了した非継続寄贈雑誌ほか、合わせて11タイトル(前年度263タイトル)を払い出した。

新聞は33紙(前年度34紙)で、そのうち継続受入紙は、購入が一般紙を含めた6紙、寄贈による収集は22紙となっている。(p.35 事業統計第2表、第3表のA参照)

(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集

特許関係の解説書・活用事例に関する図書等の収集を行った。

また、規格資料については「所蔵規格資料類リスト」を図書館ホームページに掲載し、利用者への便宜を図っている。主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区 分		保 有 状 況
国際・海外規格	ASTM(米国材料試験協会規格)	2020年版 旧年版もあり
	DIN(ドイツ連邦規格)	1971年版～2012年版のハンドブックの一部(英訳版も一部所蔵)

国内規格	JIS(日本産業規格)	全分野(A～Z)所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック、英訳JISハンドブック(2019年刊行分が最新)も所蔵
	JEC(電気学会規格)	大部分所蔵(廃止も一部所蔵)
	JEM(日本電気工業会規格)	追録あり 2020年更新分まで
	JASO(自動車技術会規格)	2017年版が最新

(ウ) 会社史、経済団体史等の収集

全国有数との評価を得ているコレクションであり、積極的に収集を行った。発行元ほか、社史を多く所蔵している各団体より寄贈いただき、寄贈冊数は361冊となった。購入による収集は3冊で、令和2年度の受け入れ数は364冊(前年度536冊)、所蔵総数は20,480冊(同20,116冊)となった。(p.35 事業統計第1表 参照)

(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ・DVD等の収集

令和2年度は、産業安全・労働衛生ビデオ・DVDについては購入3本、寄贈1本の計4本を受け入れ、汚破損のため1本を除籍した。また個人貸出用映像資料31本を寄贈で受け入れた。

令和3年3月末の所蔵総数は586本(前年度552本)となっている。その内訳は、産業安全・労働衛生等の団体貸出用357本(ビデオテープ274本、DVD83本)、個人貸出用がビデオ・DVDを合わせて229本となっている。(p.35 事業統計第3表のイ 参照)

イ 資料・情報の整備

(ア) 資料の整理、点検、修理、製本

令和2年度の資料総点検を4月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために3月にサービス一部停止期間があったことから、令和元年度末にあたるこの期間に令和2年度の点検を前倒しで実施した。なお、令和3年3月はシステム更新のサービス休止期間があったため、同様にこの期間に資料点検を行った。作業内容はいずれもKSP内に配架した図書(公開・書庫)のICタグによる点検、書庫内雑誌一部の点検と移動、JISファイルのずらしこみなどを実施した。

相模原書庫については平成30年3月に図書を移設した際に、図書の所在データを基に照合と点検を行ったことから、同書庫に保管している図書については、当面、点検は行わない予定である。

破損等で修理が必要となった資料については随時対応し、令和2年度は1,062件(前年度780件)の修理を行った。

(イ) 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌・所蔵データを速やかに作成し、OPACおよびホームページ上に公開する所蔵目録により利用者に提供している。「雑誌架最新号公開リスト」「科学技術系外国語雑誌目録」「産業安全・労働衛生ビデオ所蔵目録」等のリストを公開しているほか、「所蔵規格資料類リスト」の更新を逐次、行っている。

(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立図書館と分担して、神奈川県に関する文献（新聞記事及び図書・雑誌論文等）の主な情報を入力し、利用者に提供している。令和2年度は、神奈川県に関する文献329件（県内新聞記事33件、県内文献296件）の新規データ入力を行った（前年度587件）。また、平成31年1月より開始した過去のデータの遡及修正（主に所蔵館の変更）については、令和2年度は県内新聞記事・県内文献合わせて2,115件（前年度3,922件）の修正作業を行った。

なお、令和3年4月より、システム更新に伴い神奈川県関係文献情報ファイルは図書館システムとは別のシステム（Musetheque V4）へ移行された。

ウ 書庫・収蔵庫の運用

（ア） KSP 書庫及び相模原書庫の運用・管理

移転を機に、旧川崎図書館に所蔵していた資料は KSP と相模原書庫の2カ所に保管することとなった。このうち KSP 書庫には、雑誌5,972タイトル、新聞、及び備品図書や書庫内社史等の図書約29,000冊を配架している。相模原書庫には約126,000冊の図書を箱保管している。

相模原書庫からの図書の配送は、原則として当日12時までに依頼されたものを16時までに提供する体制を組んでいる。令和2年度の利用冊数は、3,289冊（前年度3,250冊）であった。（p.37 事業統計第6表のイ 参照）

（イ） 野庭収蔵庫（科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー）の運用・管理

県内企業資料室等との協力により、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。令和2年度は3社から、所蔵タイトルの継続分の寄贈を受けた。現在の所蔵タイトル数は1,798誌（前年度1,794誌）である。その他に、図書約41,000冊、和雑誌281誌がある。

宅配により本館への資料配送を行い、閲覧及び複写の利用に供する形をとっている。平成30年9月からは、派遣職員が週2回（火・金曜）現地勤務する体制となっている。利用冊数は1,083冊（前年度760冊）、複写枚数は1,106枚（同503枚）だった。複写枚数のうち92.4%は外国語雑誌であった。（p.37 事業統計第6表のウ 参照）

（3） 資料・情報の提供

ア 基本的サービス

（ア） レファレンスサービス

令和2年度のレファレンス受付件数は協力レファレンス55件を含めて2,933件（前年度4,054件）であった。当館の特色である科学技術や特許、規格に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録し広く公開した。レファレンスの分野別・方法別内訳は、第3図のとおりである。（p.36～p.37 事業統計第5表 参照）

第3図 レファレンス分野別・方法別内訳

総数2,933件(協力レファレンス含む)

【分野別】



【方法別】



(イ) 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

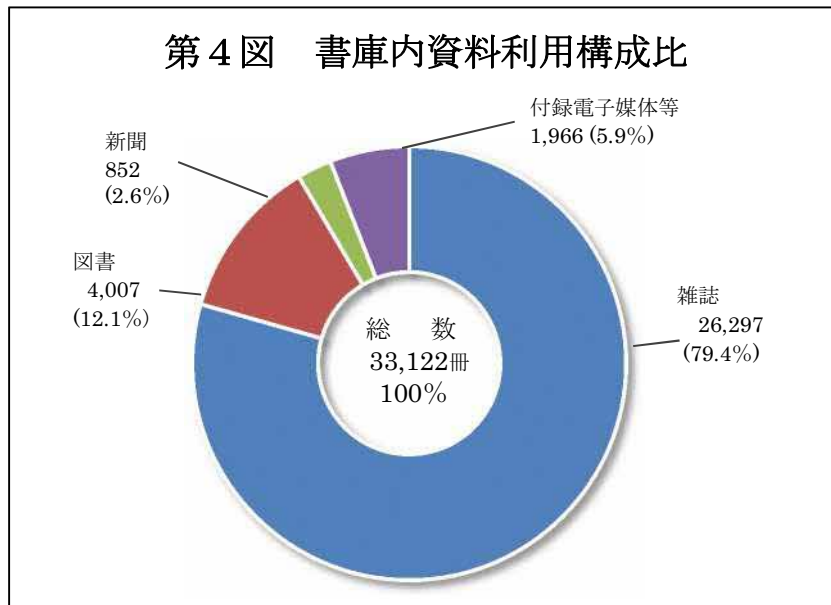
令和2年度の入館者数は51,845人（前年度83,244人）であった。（p.36 事業統計第4表 参照）

個人の新規登録者は907人（前年度1,093人）であった。貸出は図書22,018冊（前年度25,344冊）、視聴覚資料の個人貸出は944点（前年度1,534点）であった。（p.39 事業統計第8、9表、p42 第14表のア 参照）

会社・事業所などの研修等で利用される産業安全・労働衛生のビデオ・DVDについて、登録団体は85団体（うち新規登録者は28団体）、貸出は102件（ビデオ38点・DVD277点）で、上映回数は665回、参加人数は6,854人となっている。（p.42 事業統計第14表のイ 参照）

書庫内資料利用の総数は33,122冊（前年度28,610冊）であった。書庫内資料利用の79.4%が雑誌である。書庫内資料の利用構成比は第4図のとおりである。（p.37 事業統計第6表 参照）

リクエストサービスは7,836件（前年度6,874件）であった。（p.39 事業統計第10表 参照）



(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス

複写サービスの総計は申し込み 2,921 人（前年度 3,471 人）、複写枚数 121,935 枚（前年度 108,055 枚）であった。（p. 40 事業統計第 11 表 参照）

宅配貸出サービスは、257 冊（前年度 88 冊）であった。

複写枚数や在宅貸出サービスが増えているのは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出の自粛や在宅勤務等が要因であると思われる。

(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス

電子ジャーナル・オンラインデータベース利用人数は 1,409 人（前年度 1,877 人）となった。前年度より利用人数が減っているのは、新型コロナウイルス感染症の影響により来館しての利用が困難であったためと思われる。

電子ジャーナルでは「IEEE Xplore 限定メニュー版」（米国電気電子学会）、「Taylor & Francis 理工系コレクション 3 分野」の利用者数が 91 人（前年度 360 人）であった。国内学会誌は利用者数が 532 人（前年度 425 人）であった。オンラインデータベースでは「Scopus」（エルゼビア社）、「Brand Mark Search」（日本特許データサービス）、「Innovation Q+」（ip.com）、「官報情報検索サービス」（国立印刷局）の利用者数が前年度より減少した。他のオンラインデータベースの利用者数は前年度と比べて横ばいまたは減少であるが、「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」（国立国会図書館）は利用者数 86 人（前年度 60 人）と増加した。国立国会図書館が閉館・入館制限していたためと思われる。

（p. 38 事業統計第 7 表ア 参照）

また、利用状況の他の指標としての文献閲覧件数は、「IEEE Xplore 限定メニュー版」916 件（前年度 3,446 件）、「Scopus」779 件（前年度 1,633 件）、合計 1,695 件（前年度 5,079 人）となった。（p. 38 事業統計第 7 表イ 参照）

(オ) Wi-Fi 利用サービス

令和元年 6 月から Wi-Fi の運用を変更し、1 度メールアドレスを登録すると 1 年間は再登録なしで利用できるようにしたことや、開館日数の減少により、令和 2 年度の申込件数は 343 件と、令和元年度の 1,125 件より減少している。

(カ) 障がい者サービス

当館では、一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会より使用許諾を得て「耳マーク」を掲示し、カウンターには筆談用の器具とコミュニケーションボードを設置している。また、必要な方には拡大読書器をご利用いただけるようにしている。

なお、図書館利用に障がいのある県民のために、図書の郵送貸出サービスを行っているが、令和2年度には利用申込がなかった。

イ 特色あるサービス

(ア) ものづくり情報の提供

ものづくり技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した上で、講演会・イベントの開催、ものづくりギャラリー等での展示を行った。

(p.26 令和2年度 講座等実施状況 参照)

(イ) 知財関係情報等の提供

知財関係情報等の提供の一環として、電子ジャーナル・データベース席の端末で、「J-PlatPat」(工業所有権情報・研修館)や米国特許商標庁、欧州特許庁のサイト、日本パテントデータサービス(株)が提供する特許情報データベース(JP-NET)による特許情報の提供を行った。

日本弁理士会関東会と KISTEC(地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所)と共催して「図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ初心者向け知財－」を開催し、第1回目は6人、第2回目は16人が受講した。第3回は、3月に開催する予定であったが、延期となった。また、KISTEC 主催による「知財セミナー」を1回共催し、13人が受講した。

相談事業としては、「知財総合支援相談」は月2回、INPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館)の神奈川県知財総合支援窓口の協力を得て、4件の相談があった。「創業・経営相談」は月2回、けいしん神奈川の協力を得て、4件の相談があった。平成30年度から開始した「知的財産相談」は月2回、日本弁理士会関東会の協力を得て、5件の相談があった。

さらに、日本弁理士会関東会と連携して「企業関係者と弁理士の知財研究会」(全6回)を9月と11月に開催し9月は12人、11月は14人が参加した。5月、7月、1月、3月の回は延期となった。

「産業関係団体からの推薦図書コーナー」では、川崎商工会議所・けいしん神奈川等の9団体から推薦された図書を展示した(1回)。推薦図書コーナー並びには、KSP・KISTECとの連携による棚を設け、KSPの刊行物やKISTECの教育講座等の紹介とともに関連図書の展示を行った。

(p.26~29 令和2年度 講座等実施状況、p.41 事業統計表第13表 参照)

(ウ) 社史情報の提供

全国有数との評価を受けている社史コレクションを公開し、利用に供し、その活用を図った。

社史関連の催事は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業等の出張の自

粛もあり開催できなかった。

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社史」は6回刊行した。(p.23 (5)ウ 刊行物の発行 参照)

ホームページでは、特色のある社史を写真と簡単な文章で紹介する「すごい社史」で17件の社史を取りあげた。

(エ) ものづくり入門資料等の提供

子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入門的な資料を整備し提供した。ものづくりに関連のある漫画と合わせて約2,280冊を提供している。

なお、平成31年3月に設置した「昼読コーナー」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から見直しを行い、令和3年1月にコーナーを取りやめた。

(4) 連携・協力事業

ア 連携・協力

(ア) 図書館情報ネットワークの推進

県立図書館を通じた県内公共図書館への資料提供数は5,421冊(前年度5,890冊)であった。内訳は県立図書館1,829冊、市町村立図書館1,451冊、横浜西口カウンターに2,141冊である。(p.42 事業統計第15表 参照)また県立図書館から3,556冊、県内市町村立図書館から215冊借り受け、利用者に提供した。(p.39 事業統計第10表 参照)

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業のなかで、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。(p.24 (6)ア(オ) 職員の研究と発信 参照)

(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進

県外の公共図書館に198冊を貸し出し(前年度159冊)、また25冊を借り受けた(前年度16冊)。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が全国で広く利用された。(p.42 事業統計第15表、p.39 第10表 参照)

(ウ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進

「県立の図書館と県立高等学校との連携・協力事業」を利用する県立高等学校への資料提供やレファレンスサービスに努めた。貸出冊数は81冊(前年度94冊)であった。

県内大学図書館には県立図書館協力車により25冊を貸し出した。前年度(56冊)より減少した。(p.42 事業統計第15表 参照)

イ 関係団体等業務

(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会は書面により、理事会(11回、うち2回はホームページ上の掲示板による開催)及び月例会(5回)については、オンラインにて開催した。

刊行物は、「神資研ニュース」年2回、年報「神資研 第54号」を発行した。

令和2年度末の会員数は、正会員 76、賛助会員 11、個人会員 22、合計 109 会員であった。当館では、館長が会長を務め、理事 1 人(事業部長)、事務局を企画情報課が担当している。

(イ) 知財関係団体等との連携

県産業振興課が主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が書面開催で 1 回、INPIT 神奈川県知財総合支援窓口が主催する「神奈川県知財総合支援窓口事業に係る中小企業等支援機関連絡会議」が書面開催で 1 回、オンラインで 1 回開催され、当館は知的所有権センター支部として参加し、関係機関との情報交換等を行った。

(5) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 展示等の実施

a ものづくりギャラリーでの展示

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として、ものづくりギャラリーで展示を 3 回開催した。(p. 26 令和2年度 講座等実施状況 参照)

b 川崎市立中原図書館の広報協力

川崎市立図書館との連携事業の一環として、令和元年度から令和2年度にかけて川崎市立中原図書館内に、当館のサービス、催事等のパンフレットやチラシ類を配布する「県立川崎図書館からのお知らせ」コーナーが設けられた。

c 神奈川新聞への連載

神奈川新聞に職員が執筆した「サイエンスを読む 県立川崎図書館から」という連載記事が 9 月 10 日から 11 月 19 日まで 11 回掲載された。

(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館司書資格の取得を目指す学生を実習生として受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
慶應義塾大学	9 月 1 日～12 日 (10 日間)	2 人

b インターンシップ

県の事業として、インターンシップ生を受け入れているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

c 体験学習等

学校からの依頼を受け、体験学習等の生徒を受け入れているが、令和2年度は申し込みがなかった。

d 見学者の状況

令和2年度は合計で 20 件、52 人の見学者を受け入れた。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛もあり減少した。

(ウ) ホームページの運営

ホームページに展示や講演会のイベントの案内や報告、「ものづくりのための新着情報」、「司書の出番」、クリッピング等に情報を掲載し広報に努めた。令和2年度は、館報「ものづくり文化」のバックナンバー（2018年度、2019年度刊行分）、「ミニレクチャーで使用した電子ジャーナル・データベース一覧」、映画やアニメなどのフィクション作品に現れる科学者やその業績・発明品などを紹介した Web 版「こんなところに科学者」をホームページ上で公開した。

イ 講座等開催事業 (p.26 令和2年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

分身ロボット OriHime 操作デモンストレーションを、ものづくりギャラリーにて行った。

(イ) ものづくりカフェの開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は実施しなかった。

(ウ) 各種イベントの開催

a 文字・活字文化の日関連イベント

文字・活字文化の日を記念し、理化学研究所の研究者らが選んだ「科学道 100 冊」の展示を行った。また、科学道 100 冊委員会の編集工学研究所の協力を得て、11月に科学道 100 冊を用いたワークショップを実施した。

b 電子ジャーナル・データベース関連

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、閲覧室で行う電子ジャーナルミニレクチャーの回数は5回と減ったが、電子ジャーナルやデータベースの周知や利活用の促進に努めた。また、オンラインによる講座も実施した。

c 実験教室の開催

社会人や学び直しに興味のある方を対象とした「大人の理科教室」を NPO ブルーアースの協力を得て10月に開催した。

d その他

かながわ考古学財団主催「野庭出土品整理室作業見学会」の参加者を対象に「バックヤード（野庭収蔵庫）ツアー」と題し野庭収蔵庫の見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で財団の見学会が中止となったため、実施されなかった。

ウ 刊行物の発行

(ア) 館報「ものづくり文化」の発行

平成 30 年度より誌名を「科学 EYES」から「ものづくり文化」に改めて年 1 回発行している。特集テーマを「ものづくりとグッドデザイン賞」として、秋元淳氏（公益財団法人日本デザイン振興会）、笹木隆之氏（株式会社 TBM）に特集論文を執筆していただいたほか、ものづくりに関係する方々に寄稿していただいた。当館職員も執筆を行った。

(イ) 定期刊行物

定期刊行物として、社史情報を紹介する広報紙「社楽」を6回発行した。
また、当館の事業等の報告をまとめた「令和2年度要覧」を発行した。

刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	発行年月
館報「ものづくり文化」 第62巻「特集 ものづくりとグッドデザイン賞」	A4	22	1,000	R3. 3月
社楽(社史情報紙) Vol. 85「社史呑み 西日本編」 Vol. 86「スペイン風邪の大流行」 Vol. 87「社史呑み 東日本編」 Vol. 88「社内報と社史」 Vol. 89「謹賀新年 丑の社史」 Vol. 90「社史で読む周年事業」	A4	各2	各250	R2. 6月 R2. 6月 R2. 8月 R2. 11月 R3. 1月 R3. 3月
令和2年度要覧	A4	47	40	R3. 1月

(6) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

館長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画・実施している。令和2年度はいずれもオンラインにて開催した。職員の研修としても活かされている。

開催日	アドバイザー	テーマ
2月12日(金) 14:00~16:00	川島 宏 氏 株式会社栗原研究所 代表取締役設計室長	「自然災害と図書館－事例を通じて備えを考える－」
2月24日(水) 14:00~16:00	荻原 幸子 氏 専修大学 経営学部教授	「地域社会との連携と協働(その2)」

※県立図書館との共催事業として実施。

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として、毎年度目標数値を掲げ、活動評価を行っている。令和2年度については、社会教育施設評価書の全館共通項目(5区分10項目)および個別項目(5区分15項目)について目標値を設定した。評価基準は、「達成(目標値 \geq 100%)」「ほぼ達成(目標値 \geq 80%)」「未達(目標値 $<$ 80%)」としている。結果は、「達成」が9項目、「ほぼ達成」が8項目、「未達」が8項目であった。(p.30 令和2年度 県立川崎図書館の活動評価 参照)

(ウ) 利用調査の実施

利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で10月12日(月)～10月17日(土)の6日間に利用者アンケートを実施した。アンケートの結果と分析についてはホームページで公開している。

(エ) 職員の研修

例年、館内整理日に職員向けの研修会「専門家に資料を学ぶ」を1回開催している。令和2年度は「社史」をテーマに、浅田厚志氏(出版文化社 代表取締役社長)にオンラインでレクチャーしていただいた(11月12日)。

その他、館内整理日に館員による職員研修を実施したほか、神奈川県資料室研究会等が主催する研修会に参加して研鑽に努めた。

新採用職員に対する研修は、県立図書館と共同で計画的に行った。

(オ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業で、当館職員が研修の講師等を務めた。

県立図書館主催

月 日	研修名	テーマ等	講 師
6月11日(木) ～6月30日 (火)	市町村図書館等職員 基礎研修(資料掲載)	「県立川崎図書館の機能と役割」	企画情報課 主任司書 廣瀬 洋
11月4日(水)～ 11月13日(金)	市町村図書館等職員専門 研修(資料掲載) レファレンス	「規格のレファレンス」 「知財のレファレンス」	企画情報課 副主幹 稲木 美由紀 主任司書 廣瀬 洋

主な執筆等

雑誌名・巻号・発行年月	テーマ等	執筆者
神図協会報 No. 270 (2020. 4. 1) 連載「わたしのイチオシ」	神奈川県立川崎図書館の開館60周年について	企画情報課 主査 菅井 紀子
神奈川新聞(2020. 9. 10～ 11. 19)	サイエンスを読む 県立川崎図書館から(連載) ① ～ ⑪	館長 日比野 典明ほか
レファレンス協同データベース れはっちのおでかけレポート第 12回(2021. 2. 24)	神奈川県立川崎図書館	企画情報課 司書 小池 綾子

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

閲覧室内の無線LANについて、セキュリティ向上のため、基盤構築及び回線整備等の環境整備を実施した。

(イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、電気などの省エネルギーや焼却ゴミの削減等に取り組んだ。

8 令和2年度 講座等実施状況

(1) 展示

ア ものづくりギャラリー展示

テーマ	内 容	開催期間
「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」と建築	大会のために新設された競技場などの施設を、資料を用いて技術の面から説明した。県立の博物館と図書館による web コンテンツを集約したホームページ「おうちでミュージアム&ライブラリー」でも展示の内容を説明した。	6月9日(火) ～ 9月9日(水)
分身ロボット OriHime～距離や障害を乗り越えるテクノロジー～	社会問題化する孤独をコミュニケーションテクノロジーによって解消するために開発された分身ロボット OriHime (オリヒメ) について紹介する展示を行なった。	9月11日(金) ～ 12月9日(水)
県立川崎図書館の本で作ってみよう	当館が所蔵する「ものづくり」関連資料を使って作成した建築模型やラズベリーパイ(小型コンピューター)を用いた工作などを資料とともに展示した。展示の内容は当館のホームページにも掲載した。	12月11日(金) ～ 3月23日(火) ※5月13日(木)まで延長

イ ものづくり入門コーナー・公開書架(低書架)での展示

テーマ	展示期間
藤嶋昭氏と光触媒	通年
富岳世界一おめでとう。	6月25日(木)～8月6日(木)
上皇陛下のご研究	7月23日(木)～8月29日(土)
川崎図書館で出会う本	7月31日(金)～2月19日(金)
そろばんの日	8月6日(木)～9月12日(土)
アイザック・アシモフ生誕100年	8月29日(土)～9月25日(金)
新聞連載関連展示(全12回)	9月12日(土)～1月5日(火)
国際宇宙ステーション	9月19日(土)～10月20日(火)
イグノーベル賞	9月25日(金)～10月31日(土)
科学道100冊(低書架)	10月5日(月)～11月30日(月)
ノーベル賞2020	10月6日(火)～10月31日(土)
家庭用ゲーム機	10月20日(火)～11月13日(金)
携帯電話	10月31日(土)～12月5日(土)
追悼小柴昌俊さん	11月13日(金)～12月9日(水)
はやぶさ2 まもなく地球帰還!(低書架)	12月1日(火)～2月12日(金)

暗号機「エニグマ」発見！	12月5日（土）～1月9日（土）
祝 100 周年	1月5日（火）～2月1日（月）
図書館で名建築を	1月9日（土）～2月12日（金）
チョコレート	2月1日（月）～2月17日（水）
2月22日は猫の日	2月12日（金）～2月24日（水）
花粉症を知る（低書架）	2月12日（金）～3月22日（月）
鉱物の世界	2月17日（水）～3月6日（土）
地震特集	2月24日（水）～3月6日（土）
ABC 予想	3月6日（土）～3月20日（土）

ウ 社史コーナー展示

テーマ	展示期間
箱もすごい社史	6月9日（火）～8月12日（水）
空想 日本「社史呑み」旅	8月14日（金）～9月9日（水）
このアイスがすごい！	9月11日（金）～10月27日（火）
本を形作る社史	10月27日（火）～11月10日（火）
優秀会社史賞 2020	11月10日（火）～1月27日（水）
丑年の社史	1月27日（水）～3月17日（水）
周年企業の社史	3月17日（水）～4月24日（土）

（２） 講演会等 ※「延期」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による

ア ものづくりギャラリー展示関連イベント

開催日時	テーマ等	参加人数
10月 12, 13, 15, 17日	分身ロボット OriHime 操作デモンストレーション ※ものづくりギャラリーにて実施	53人

イ 文字・活字文化の日記念行事関連イベント

開催日時	テーマ等	参加人数
11月21日（土） 14:00～15:30	ワークショップ「科学の本を選んでみよう～科学道 100冊から広がる科学の本の選び方・楽しみ方～」 講師：得原 藍 氏（理学療法士・「科学道 100冊」 ワークショップ講師）	9人

ウ 大人の理科教室

開催日時	テーマ等	参加人数
10月3日（土） 10:00～11:30	光を分解!!レインボーカラーをつくろう 講師：瀧本 憲一 氏（NPO ブルーアース）	14人

エ 電子ジャーナルミニレクチャー

開催日時	テーマ等	参加人数
9月29日(火) 17:00~17:30	IEEE	4人
10月9日(金) 17:00~17:30	ノーベル賞受賞者	3人
10月28日(水) 17:00~17:30	日経テレコン	6人
11月9日(月) 17:00~17:30	Scopus	6人
12月22日(火) 17:00~17:30	CiNii、JDreamIII	4人
計		23人

オ 電子ジャーナル・データベース関連講座

開催日時	テーマ等	参加人数
11月17日(火) 14:30~15:50	資料の調べ方講座「県立川崎図書館の使い方～データベースを中心に～」 講師 高石 雅人 氏 (エルゼビア・ジャパン) 廣瀬 洋 (当館 主任司書)	31人 (会場4人、オンライン27人)
1月13日(水) 13:30~15:30	資料の調べ方講座「特許・商標の検索方法 ～JP-NET、Brand Mark SearchのWeb説明会～」 講師 福本 悠斗 氏 (日本パテントデータサービス) 宮脇 秀兼 氏 (日本パテントデータサービス)	20人 (オンライン)
計		51人

カ 図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ初心者向け知財－

(共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
10月17日(土) 14:00~15:00	【第1回】商標権と意匠権ってどんな権利？ －「コカ・コーラの瓶」を例に一緒に考えていただきます－ 講師：穂坂 道子 氏 (弁理士)	6人
12月19日(土) 14:00~15:00	【第2回】弁理士と共に学ぶ&学び直す特許・実用新案 講師：佐藤 高信 氏 (弁理士)	16人
2月20日(土) 14:00~15:00	【第3回】デジタル・ネットワーク時代の著作権 講師：高原 千鶴子 氏 (弁理士)	延期

キ 知財セミナー (主催：KISTEC 共催：当館、株式会社ケイエスピー)

開催日時	テーマ等	参加人数
12月8日(火) 13:40~16:30	意匠登録のための手続き実務～出願から登録まで～ 講師：青木 博通 氏 (ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士)	13人

ク 企業関係者と弁理士の知財研究会（日本弁理士会関東会との連携事業）

開催日時	テーマ等	参加人数
5月21日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「特許権の共有及び特許権の消尽」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	延期
7月30日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「製造業者のノウハウ・知的財産権を対象とした優越的地位の濫用行為等に関する実態調査報告書」（公取委）を、企業関係者、弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	延期
9月24日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「特許権の共有及び特許権の消尽」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 8人 ② 4人
11月26日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「製造業者のノウハウ・知的財産権を対象とした優越的地位の濫用行為等に関する実態調査報告書」（公取委）を、企業関係者、弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 7人 ② 7人
1月28日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「機能的クレーム（主に権利取得段階）」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	延期
3月18日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「機能的クレーム（主に権利行使段階）」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	延期
計		26人

ケ バックヤード（野庭収蔵庫）ツアー（かながわ考古学財団主催「野庭出土品整理室作業見学会」参加者対象）

開催日時	テーマ等	参加人数
1月23日(土)	県立川崎図書館バックヤード（野庭収蔵庫）ツアー（野庭収蔵庫見学会）	中止

9 令和2年度 県立川崎図書館の活動評価

令和2年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下の通りである。（小数点以下第2位を切り捨て）

達成	（目標値 \geq 100%）	○
ほぼ達成	（目標値 \geq 80%）	△
未達	（目標値 $<$ 80%）	×

ア 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 利用者満足度	98%	94.0%	95.9%	△
《課題・対応の方向》 ・「県立川崎図書館に関するアンケート」（10/12～10/17）から算出した。「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人／回答者合計の人数比。 ・目標値には達しなかった。利用者に満足いただける図書館サービスの提供に努める。				
② 入館者	90,000人	51,845人	57.6%	×
《課題・対応の方向》 ・新型コロナウイルスの影響により目標を達成できなかった。「新しい生活様式」における来館サービスの在り方を検討していく。				
③ 教育・普及事業への参加者	1,400人	224人	16.0%	×
《課題・対応の方向》 ・コロナ禍の対応として、講演会、イベント等については、中止、人数制限や予約制での実施などの対応をとった。「新しい生活様式」における適切な実施について検討していく。				
④ インターネットアクセス	4,200,000件	3,591,276件	85.5%	△
《課題・対応の方向》 ・レスポンスデザインに対応し新しくなったホームページを活かす魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。				

【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤ 活用 （展示または各種メディア等で紹介した資料点数）	1,000点	1,117点	111.7%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館の利用促進につながるような展示の企画、実施に努めるとともにホームページ等				

での資料紹介等を積極的に行う。				
⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に取り組んでいく。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦ 研究成果の公開 (発表・印刷物等)	40件	38件	95.0%	△
《課題・対応の方向》 ・職員の研究活動や文献執筆や講師などによる発表の機会を確実に捉えるように努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	270件	287件	106.2%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨ 観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩ 施設点検 (だれもが等しく利用できる図書館を目指す。)	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	図書館利用に障がいのある人々へ配慮した。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館利用に障がいのある人々が少しでも利用しやすくなるよう、取り組んでいく。				
⑪ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数 個別項目⑩参照)	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなど専門的能力の向上	目標とする研修や講座の参加者延人数に達しなかった。		△
《課題・対応の方向》 ・積極的に、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				

イ 個別項目（5区分15項目 ⑦は2項目）

【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	540件	372件	68.8%	×
《課題・対応の方向》 ・刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
② 破損等資料の修理件数 (修理件数/破損等件数)	100%	100% (1,062件 /1,062件)	100.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損などの棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③ レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール・文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む。))	4,100件	2,933件	71.5%	×
《課題・対応の方向》 ・レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努める。				
④ 貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	27,000件	22,962件	85.0%	△
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応すると共に、貸出サービスの周知を図り、利用促進に努める。				
⑤ 書庫内資料利用数 (書庫の資料を提供した件数)	30,000件	33,122件	110.4%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書庫内資料の周知を図り、所蔵資料のデータ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに提供できるよう努める。				
⑥ 複写枚数(コイン式コピー、電子ジャーナル等のプリントアウト、郵送複写等)	109,000枚	121,935枚	111.8%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、所蔵資料の周知を図り、データ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに資料提供できるよう努める。				
⑦-1 電子ジャーナル等の利用人数 (利用申込み延べ人数)	1,900人	1,409人	74.1%	×

⑦-2 電子ジャーナル等の利用件数 (IEEE、Scopus文献閲覧件数)	7,500件	1,695件	22.6%	×
《課題・対応の方向》 ・コロナ禍において、館内利用が条件である電子ジャーナル・データベース等は利用が減少した。今後の在り方について検討を行う。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数等)	500件	442件	88.4%	△
《課題・対応の方向》 ・各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスに努める。				
⑨ 県内市町村図書館等への貸出冊数	6,200冊	5,547冊	89.4%	△
《課題・対応の方向》 ・県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑩ 県外図書館への貸出冊数	170冊	202冊	118.8%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、魅力的なものづくり技術に関する資料等の周知を図り、さらに収集・提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑪ テーマによる資料展示回数	40回	63回	157.5%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、当館所蔵資料を活用した展示について、時宜に合うテーマに留意しつつ「ものづくりギャラリー」を中心に、館内各所で開催する。				
⑫ 視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	60件	21件	35.0%	×
《課題・対応の方向》 ・コロナウイルス感染予防対策を徹底して、視察・見学会、職業体験等の希望に着実に対応するよう努める。				
⑬ 各団体・機関への広報実施件数 (産業団体や外部機関等へ出向くなど、川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数)	50件	30件	60.0%	×

《課題・対応の方向》

- ・「新しい生活様式」において適切な手段による当館の周知や講座などを検討し、また、該当団体等の持つ広報手段を通じた広報を積極的に行うよう努める。

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑭ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	300人	287人	95.6%	△

《課題・対応の方向》

- ・館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。

事業統計

(令和2年度)

第1表 部門別蔵書冊数

区分	2年度当初冊数	受 入						払 出	差 引 増 減	2 年 度 末 冊 数	分類別 比率(%)
		購 入	寄 贈	管理換	編 入	その他	小 計				
0 総 記	14,993	44	15	0	0	0	59	25	34	15,027	5.7%
1 哲 学	308	0	2	0	0	0	2	1	1	309	0.1%
2 歴 史	5,679	2	10	0	0	0	12	2	10	5,689	2.2%
3 社 会 科 学	12,694	25	49	0	0	0	74	12	62	12,756	4.9%
4 自 然 科 学	53,704	112	58	0	0	1	171	7	164	53,868	20.6%
5 技 術 ・ 工 学	117,110	315	289	0	0	0	604	8	596	117,706	45.0%
6 産 業	14,294	16	46	0	0	1	63	8	55	14,349	5.5%
7 芸 術 ・ 美 術	422	1	31	0	0	0	32	2	30	452	0.2%
8 言 語	389	0	0	0	0	0	0	1	-1	388	0.2%
9 文 学	2,588	0	10	0	0	0	10	105	-95	2,493	1.0%
社 史 等	20,116	3	361	0	0	0	364	0	364	20,480	7.8%
規 格	7,312	112	13	0	0	1	126	0	126	7,438	2.8%
児 童 書	10,494	0	0	0	0	0	0	2	-2	10,492	4.0%
合 計	260,103	630	884	0	0	3	1,517	173	1,344	261,447	100.0%
洋 書 (注1)	(6,371)	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(4)	(0)	(4)	(6,375)	(2.4%)

(注1)洋書は()に内数で記入。

第2表 逐次刊行物保有状況

ア. 雑 誌

元年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	2年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集		
					購 入	寄 贈(会 費負担)	寄 贈
8,051	11	11	0	8,051	359	89	894
(2,188)	(4)	(0)	(4)	(2,192)	(2)	(0)	(49)

(注) 外国語雑誌は()に内数で記入。

イ. 新 聞

元年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	2年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集	
					購 入	寄 贈
34	0	1	-1	33	6	22

第3表 電子ジャーナル等資料の保有状況

ア. 電子ジャーナル・データベース

		契約数	内 訳
国 内		22	土木学会論文集、電子情報通信学会論文誌A,B,C,D、電子情報通信学会技術研究報告(通信ソサイエティ、情報・システムソサイエティ、基礎・境界ソサイエティ/NOLTAソサイエティ、エレクトロニクスソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)、BIO INDUSTRY、情報処理学会論文誌、情報処理学会研究報告、地盤工学会誌、日本金属学会講演概要集(講演論文集)、自動車技術会学術講演会講演予稿集(講演論文集)、JDreamⅢ、JP-NET(Brand Mark Searchを含む)、CiNii、日経テレコン、官報情報検索サービス、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス
海 外		3	IEEE Xplore(限定メニュー版、Innovation Q Plusを含む)、Scopus(検索機能部分のみ)、Taylor & Francis(契約無料)

イ. 視 聴 覚 資 料

区 分	元年度末数	受 入					払 出	2年度末数
		購 入	寄 贈	管理換	その他	計		
個 人 貸 出 用	198	0	31	0	0	31	0	229
団 体 貸 出 用	354	3	1	0	0	4	1	357
合 計	552	3	32	0	0	35	1	586

ウ. CD-ROM

区分	元年度末数	受	入	払	出	2年度末数
規格・連 特許関	36		0		0	36
新聞	1		0		0	1
科学技術文献速報	12		0		0	12
計	49		0		0	49

第4表 開館日数・入館者数

区分	前年度開館日数												合計
	2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月	
開館日数	9	4	25	26	25	25	26	24	23	22	23	25	257
業務日数	25	24	25	26	25	25	26	24	23	22	23	25	293
入館者数	460	194	3,661	5,253	5,540	5,544	5,969	5,329	5,160	4,868	5,755	4,112	51,845
1日平均	51	49	146	202	222	222	230	222	224	221	250	164	202
前年度入館者数	6,415	7,231	5,270	7,975	9,969	7,502	7,438	7,825	7,061	6,950	7,810	1,798	83,244
前年度1日平均	257	278	277	307	383	313	298	313	307	316	325	72	287

注※業務日とは、入管以外のサービス(仮設カウンターでの対応、電話等でのレファレンス、郵送複写等)を行っていた日のことである。

第5表 レファレンス件数

ア. 館内レファレンス

区分	月別												合計	比率(%)	
	2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月			
質問件数	90	63	249	323	292	259	294	280	253	273	294	208	2,878	100%	
1日平均 (業務日)	3.6	2.6	10.0	12.4	11.7	10.4	11.3	11.7	11.0	12.4	12.8	8.3	9.8	-	
分野別	自然科学	1	1	10	27	8	8	6	12	6	10	16	6	111	3.9%
	工学・産業	6	8	46	49	60	43	50	47	48	46	28	32	463	16.1%
	社会・人文科学	1	0	13	12	21	10	5	10	6	9	10	3	100	3.5%
	社史	4	1	10	29	21	29	42	22	37	18	37	25	275	9.5%
	利用ガイド	77	53	165	205	180	165	189	186	156	184	202	140	1,902	66.1%
	ビジネス	1	0	5	1	2	4	2	3	0	6	1	2	27	0.9%
訳方法別	口頭	0	0	105	165	162	132	152	150	143	123	167	118	1,417	49.2%
	電話	70	57	133	137	124	123	122	116	100	143	123	81	1,329	46.2%
	文書	0	0	4	4	0	0	3	1	0	2	0	1	15	0.5%
	メール	20	6	7	17	6	4	17	13	10	5	4	8	117	4.1%
前年度件数	299	344	353	464	388	397	389	328	284	257	272	209	3,984	-	
前年度1日平均	12.0	13.2	18.6	17.8	14.9	16.5	15.6	13.1	12.3	11.7	11.3	8.4	13.7	-	

イ. 協カレファレンス

区分	月別												合計	比率(%)	
	2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年 1月	2月	3月			
質問件数	3	0	6	7	1	12	3	4	4	6	7	2	55	100%	
1日平均 (業務日)	0.1	0.0	0.2	0.3	0.0	0.5	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.2	-	
分野別	自然科学	0	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	0	6	10.9%
	工学・産業	2	0	3	5	1	2	0	1	2	1	1	0	18	32.7%
	社会・人文科学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	3.6%
	社史	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5.5%
	利用ガイド	1	0	2	2	0	5	3	2	2	3	5	1	26	47.3%
	ビジネス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
訳方法別	口頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	電話	2	0	4	6	0	10	3	1	1	6	5	1	39	70.9%
	文書	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	6	10.9%
	メール	0	0	1	1	0	2	0	2	2	0	2	0	10	18.2%
前年度件数	6	6	6	6	6	6	8	3	2	9	6	6	70	-	
前年度1日平均	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.4	0.3	0.2	0.2	-	

ウ. レファレンス総数

区 分	2 年 月 別				3 年 月 別				合 計				
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月		12 月			
総 数	93	63	255	330	293	271	297	284	257	279	301	210	2,933
1 日 平 均 (業 務 日)	3.7	2.6	10.2	12.7	11.7	10.8	11.4	11.8	11.2	12.7	13.1	8.4	10.0
内 館 内 レファレンス	90	63	249	323	292	259	294	280	253	273	294	208	2,878
訳 協 力 レファレンス	3	0	6	7	1	12	3	4	4	6	7	2	55

第6表 書庫内資料の利用数

ア. K S P 書庫

区 分	2 年 月 別				3 年 月 別				合 計					
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月		12 月				
総 数	338	333	2,765	2,794	3,120	2,715	2,608	3,223	2,424	2,375	2,849	3,206	28,750	
1 日 平 均 (業 務 日)	13.5	13.9	110.6	107.5	124.8	108.6	100.3	134.3	105.4	108.0	123.9	128.2	98.1	
内 訳	図 書	2	0	34	27	43	21	24	62	13	9	16	33	284
	雑 誌	267	330	2,316	2,410	2,770	2,442	2,312	2,757	2,144	2,152	2,678	3,070	25,648
	外 国 語 雑 誌 (注)	(11)	(11)	(11)	(66)	(25)	(122)	(22)	(46)	(107)	(161)	(71)	(20)	(673)
	新 聞	0	0	162	158	125	38	113	44	47	55	71	39	852
	付 録 電 子 媒 体 等	69	3	253	199	182	214	159	360	220	159	84	64	1,966
前 年 度 総 数	2,359	1,879	1,804	2,126	2,137	2,027	2,234	2,271	3,216	2,154	1,804	589	24,600	

(注)外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 相模原書庫

区 分	2 年 月 別				3 年 月 別				合 計				
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月		12 月			
取 寄 冊 数	104	88	359	349	323	389	350	269	270	246	302	240	3,289
1 日 平 均 (業 務 日)	4.2	3.7	14.4	13.4	12.9	15.6	13.5	11.2	11.7	11.2	13.1	9.6	11.2
前 年 度 総 数	264	290	261	322	292	272	292	329	218	251	230	229	3,250

ウ. 野庭収蔵庫

区 分	2 年 月 別				3 年 月 別				合 計					
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月		12 月				
取 寄 冊 数	30	35	75	161	140	92	84	67	164	99	71	65	1,083	
内 訳	外国語雑誌	19	13	22	93	84	36	46	26	24	62	28	31	484
	和雑誌	0	2	5	25	5	1	3	3	100	2	5	14	165
	図書	11	20	48	43	51	55	35	38	40	35	38	20	434
複 写 枚 数	78	10	143	82	48	120	196	60	76	127	106	60	1,106	
内 訳	外国語雑誌	78	8	129	79	45	120	196	60	63	114	95	35	1,022
	和雑誌	0	2	14	3	3	0	0	0	13	10	6	25	76
	図書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	8
前 年 度	取 寄 冊 数	46	86	44	117	53	53	82	64	49	61	52	53	760
	複 写 枚 数	36	33	41	45	18	17	81	67	105	34	22	4	503

エ. 総数

区 分	2 年 月 別	3 年 月 別	合 計										
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
冊 数	472	456	3,199	3,304	3,583	3,196	3,042	3,559	2,858	2,720	3,222	3,511	33,122

第7表 電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数

ア. 人数等

区分	月別	2014年												合計	前年度末
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
IEEE	利用人数	0	0	7	9	13	12	13	4	9	5	11	6	89	348
	複写枚数	0	0	170	18	44	129	325	22	93	53	183	59	1,096	1,552
国内学会誌	利用人数	0	0	58	51	49	47	62	58	75	55	38	39	532	425
	複写枚数	0	0	465	361	399	228	469	800	495	363	380	224	4,184	2,243
Taylor & Francis	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	12
	複写枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78
Scopus	利用人数	0	0	1	4	7	12	14	13	6	8	10	5	80	309
	複写枚数	0	0	0	5	40	435	279	82	114	403	276	787	2,421	886
JDreamⅢ	利用人数	0	0	6	7	7	10	10	5	4	5	10	6	70	130
	複写枚数	0	0	12	79	105	103	125	49	44	31	60	79	687	1,787
CiNii	利用人数	0	0	23	19	20	27	36	30	23	31	32	20	261	264
	複写枚数	0	0	0	0	2	37	23	0	0	9	200	186	457	523
JP-NET	利用人数	0	0	2	3	1	1	3	3	1	2	1	2	19	37
	複写枚数	0	0	0	292	0	2	60	18	0	17	0	1,304	1,693	1,394
Brand Mark Search	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
	複写枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J-PlatPat	利用人数	0	0	4	3	1	1	2	0	1	4	3	0	19	35
	複写枚数	0	0	52	0	5	21	30	0	0	0	5	0	113	476
Innovation Q+	利用人数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	25
	複写枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	292
日経テレコン21	利用人数	0	0	5	3	5	3	11	3	11	4	2	5	52	58
	複写枚数	0	0	19	0	230	20	30	0	71	33	0	22	425	1,439
官報情報検索サービス	利用人数	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	24
	複写枚数	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	28	9
国会デジタル	利用人数	0	0	5	9	9	16	10	12	6	9	7	3	86	60
	複写枚数	0	0	47	114	0	250	133	95	0	21	35	3	698	114
その他	利用人数	0	0	18	17	19	20	28	20	18	18	20	14	192	146
	複写枚数	0	0	43	101	19	32	122	340	33	115	34	22	861	653
合計	利用人数	0	0	132	126	132	149	189	148	155	143	134	101	1,409	1,877
	複写枚数	0	0	808	970	872	1,257	1,596	1,406	850	1,045	1,173	2,686	12,663	11,446

イ. 文献閲覧件数 (IEEE、Scopus)

区分	月別	2014年												合計	前年度末
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
IEEE		67	7	97	54	81	138	116	75	108	22	86	65	916	3,446
Scopus		51	3	12	66	66	69	146	140	55	86	43	42	779	1,633
合計		118	10	109	120	147	207	262	215	163	108	129	107	1,695	5,079

第8表 個人貸出登録者数

区分	元年度末	登録削除数	2年												合計	2年度末
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
登録者数	6,742	1,752	25	14	110	89	97	80	91	75	84	73	89	80	907	5,897

第9表 個人貸出冊数

月別 区分	2年												合計	分類別 比率(%)	前年度 貸出冊数	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
貸出冊数	804	306	1,944	2,229	2,403	2,190	2,443	1,981	2,076	2,053	2,050	1,539	22,018	100%	25,344	
1日平均 (業務日)	32.2	12.8	77.8	85.7	96.1	87.6	94.0	82.5	90.3	93.3	89.1	61.6	75.1	-	87.4	
内 部 別	一般図書	769	304	1,850	2,141	2,245	2,043	2,272	1,871	1,983	1,967	1,952	14,611	20,858	94.7%	23,653
	0 総記	90	26	177	183	190	190	174	138	214	198	176	148	1,904	8.6%	2,629
	1 哲学	23	12	41	38	34	41	43	37	56	32	31	24	412	1.9%	384
	2 歴史	17	16	75	50	65	78	103	62	83	79	78	41	747	3.4%	528
	3 社会科学	56	32	150	145	156	125	134	128	125	134	146	90	1,421	6.4%	1,337
	4 自然科学	242	73	472	683	629	543	557	524	502	510	531	412	5,678	25.8%	6,811
	5 技術・工学	236	112	726	845	909	805	957	781	764	827	777	583	8,322	37.8%	9,528
	6 産業	32	2	27	68	68	82	69	61	100	52	49	33	643	2.9%	827
	7 芸術・美術	40	12	83	70	114	111	146	91	65	64	82	74	952	4.3%	945
	8 言語	2	1	8	4	9	9	13	8	8	5	9	8	84	0.4%	75
9 文学	31	18	91	55	71	59	76	41	66	66	73	48	695	3.2%	589	
社史等	35	2	94	88	158	147	171	110	93	86	98	78	1,160	5.3%	1,691	
前年度貸出冊数	2,013	2,158	2,016	2,373	2,623	2,216	1,963	2,237	1,988	2,071	2,290	1,396	25,344	-	-	
前年度1日平均	80.5	83.0	106.1	91.3	100.9	92.3	78.5	89.5	86.4	94.1	95.4	55.8	87.4	-	-	

第10表 リクエストサービス

月別 区分	2年												合計	比率(%)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総数	441	264	988	723	722	732	827	575	696	640	735	493	7,836	100%	
内 部 別	自然科学	87	48	187	147	114	128	110	116	98	65	117	59	1,276	16.3%
	工学・産業	160	124	316	208	205	229	260	141	202	194	231	165	2,435	31.1%
	社会・人文科学	180	92	473	354	390	371	432	309	381	376	385	263	4,006	51.1%
	社史等	14	0	12	14	13	4	25	9	15	5	2	6	119	1.5%
	返却待	248	168	470	310	280	309	353	195	253	237	295	209	3,327	42.4%
	購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0%
	他館から借受	182	95	432	331	407	366	414	325	389	309	353	230	3,833	48.9%
	(県立)	(160)	(93)	(421)	(304)	(384)	(343)	(384)	(295)	(371)	(289)	(318)	(215)	(3,577)	(45.6%)
	(市町村)	(20)	(2)	(10)	(22)	(19)	(19)	(23)	(26)	(15)	(16)	(29)	(14)	(215)	(2.7%)
	(県内機関その他)	(0)	(0)	(1)	(1)	(2)	(1)	(4)	(2)	(2)	(0)	(3)	(0)	(16)	(0.2%)
(県外)	(2)	(0)	(0)	(4)	(2)	(3)	(3)	(2)	(1)	(4)	(3)	(1)	(25)	(0.3%)	
取消等	11	1	86	82	35	57	60	55	54	94	87	53	675	8.6%	
前年度総数	463	585	596	631	596	557	516	563	568	502	554	743	6,874	-	

※()は内数

第11表 複写サービス

区分	月別	2年												3年	合計	比率(%)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総数	人数	58	49	264	288	326	316	331	281	278	245	254	231	2,921	100%	
	枚数	1,469	1,761	10,863	12,552	11,523	13,493	12,401	12,116	12,128	10,760	10,829	12,040	121,935	100%	
1日平均 (業務日)	人数	2.3	2.0	10.6	11.1	13.0	12.6	12.7	11.7	12.1	11.1	11.0	9.2	10.0	-	
	枚数	58.8	73.4	434.5	482.8	460.9	539.7	477.0	504.8	527.3	489.1	470.8	481.6	416.2	-	
内訳	コピー	人数	0	0	169	206	248	233	223	192	189	177	172	169	1,978	67.7%
		枚数	0	0	8,001	10,723	9,995	11,582	10,282	9,425	10,234	9,129	9,265	9,004	97,640	80.1%
	データベース等 000(注)	人数	0	0	50	44	54	58	70	58	51	46	57	43	531	18.2%
		枚数	0	0	1,583	1,400	1,262	1,465	1,759	2,291	1,373	1,453	1,320	2,808	16,714	13.7%
	国 デ ジ タル	人数	0	0	4	5	0	4	7	6	0	2	2	1	31	1.1%
		枚数	0	0	47	114	0	250	133	95	0	21	35	3	698	0.5%
	郵 送	人数	58	49	41	32	24	21	31	25	38	20	23	16	378	12.9%
		枚数	1,469	1,761	1,232	310	266	196	227	305	521	157	209	219	6,872	5.6%
	ファクシミリ	人数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0.1%
		枚数	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	6	11	0.1%
前年度総数	人数	305	357	284	347	352	275	299	312	280	303	271	86	3,471	-	
	枚数	7,893	10,311	7,893	10,680	11,870	7,603	10,168	10,831	7,518	10,946	10,445	1,897	108,055	-	

(注) データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

第12表 講習会・講座・講演会等

区分	月別	2年												3年	合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数		0	0	0	0	0	2	8	4	3	1	0	0	18	
参加人数		0	0	0	0	0	16	82	60	33	20	0	0	211	
前年度	実施回数	1	4	5	9	3	6	2	4	4	3	3	0	44	
	参加人数	44	76	45	302	506	98	20	134	104	26	35	0	1,390	

※ 参加人数は保護者を含めた数字

第13表 知財総合支援相談

ア. 知財総合支援相談

区分	2年				3年				合計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月	1月	2月	3月
開催回数	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	8
実施回数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
利用者数	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4
相談件数	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4
内訳	特許・実用新案	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	意匠・商標	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度開催数	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	2	0	19
前年度実施回数	2	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	10
前年度利用者数	2	1	1	1	0	3	0	1	2	1	4	0	16
前年度相談件数	2	1	1	1	0	3	0	1	2	1	4	0	16

※ 実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

イ. 創業・経営相談

創業・経営相談	2年				3年				合計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月	1月	2月	3月
開催回数	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	14
実施回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	0	21
前年度実施回数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7
前年度利用者数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7
前年度相談件数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7

ウ. 知的財産相談

知的財産相談	2年				3年				合計				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月	1月	2月	3月
開催回数	0	0	0	0	0	2	2	2	2	1	0	0	9
実施回数	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4
利用者数	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	5
相談件数	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	5
内訳	特許・実用新案	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	5
	意匠・商標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度開催数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	22
前年度実施回数	1	2	1	0	1	0	0	0	2	2	1	0	10
前年度利用者数	1	2	1	0	1	0	0	0	3	3	1	0	12
前年度相談件数	1	2	1	0	1	0	0	0	3	3	1	0	12

第14表 視聴覚資料の貸出状況

ア. 個人

区分	2年		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3年		合計
	4月	5月	5月	6月	6月	7月	7月	8月	8月	9月	9月	10月	10月	11月	11月	12月	12月	1月	2月	3月	
科学技術ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立図書館所蔵資料	45	45	86	108	106	109	98	64	76	58	77	72	944								
計	45	45	86	108	106	109	98	64	76	58	77	72	944								
前年度総数	185	184	122	109	130	162	102	117	102	75	111	135	1,534								

イ. 団体

区分	元年度末	期限切れ	2年		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3年		年度合計	2年度末
			4月	5月	5月	6月	6月	7月	7月	8月	8月	9月	9月	10月	10月	11月	11月	12月	12月	1月	2月	3月		
登録者	124	67	0	0	9	9	2	1	1	2	0	3	0	1	28	85								

区分	2年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3年1月		2月		3月		合計	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
ビデオ	1	0	0	0	6	1	10	17	4	13	14	2	8	2	5	0	14	5	6	0	6	0	102	38		
DVD	4	4	0	0	20	16	44	50	32	10	33	8	18	5	12	14	31	6	18	6	15	15	277			
上映回数	8		0		39		155		112		102		87		29		27		53		23		30		665	
参加人数	20		0		281		1,201		513		487		2,063		287		225		792		496		489		6,854	
前年度	ビデオ	8	0	12	4	27	5	14	5	12	0	7	3	6	13	4	12	2	7	0	180	36				
	DVD	16	16	35	66	63	41	37	47	16	41	18	43	13	25	32	7	18	464							
	上映回数	42		42		115		161		82		54		143		74		87		48		75		42		965
参加人数	966		955		3,176		4,481		883		1,414		1,969		1,076		1,411		1,016		832		204		18,383	

第15表 他の図書館等への貸出状況

区分	2年		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3年		合計	
	4月	5月	5月	6月	6月	7月	7月	8月	8月	9月	9月	10月	10月	11月	11月	12月	12月	1月	2月	3月		
公共図書館	182	83	351	365	314	355	360	276	312	299	282	299	3,478									
機関	県立図書館	142	74	231	171	160	175	172	126	152	139	137	1,829									
	市町村立図書館等	39	8	96	177	142	164	161	135	143	141	124	1,451									
	県外の図書館	1	1	24	17	12	16	27	15	17	19	21	198									
	横浜西口カウンター	8	0	158	208	216	244	274	188	186	205	209	2,141									
別	企業ライブラリー等	1	0	3	16	8	5	17	14	9	9	12	101									
	高校連携	2	6	7	6	8	12	14	5	3	7	5	81									
	大学	1	0	0	2	3	3	3	3	3	5	2	25									
	行政支援	0	1	5	0	1	1	2	0	2	2	2	17									
	NACSIS-IILL	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	4									
前年度貸出冊数	580	545	495	613	593	566	614	572	494	472	502	399	6,445									

第 16 表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 33 年度	16,075	—
34	28,090	12,015
35	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	△ 3,188
55	232,394	△ 3,227
56	233,064	670
57	226,921	△ 6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	△ 777
60	221,650	△ 6,458
61	220,327	△ 1,323
62	217,371	△ 2,956
63	215,189	△ 2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	△ 6,036
8	242,713	△ 7,649
9	190,111	△ 52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634
27	258,799	3,431
28	260,640	1,841
29	258,837	△ 1,803
30	260,656	1,819
令和 元 年度	260,103	△ 553
2	261,447	1,344

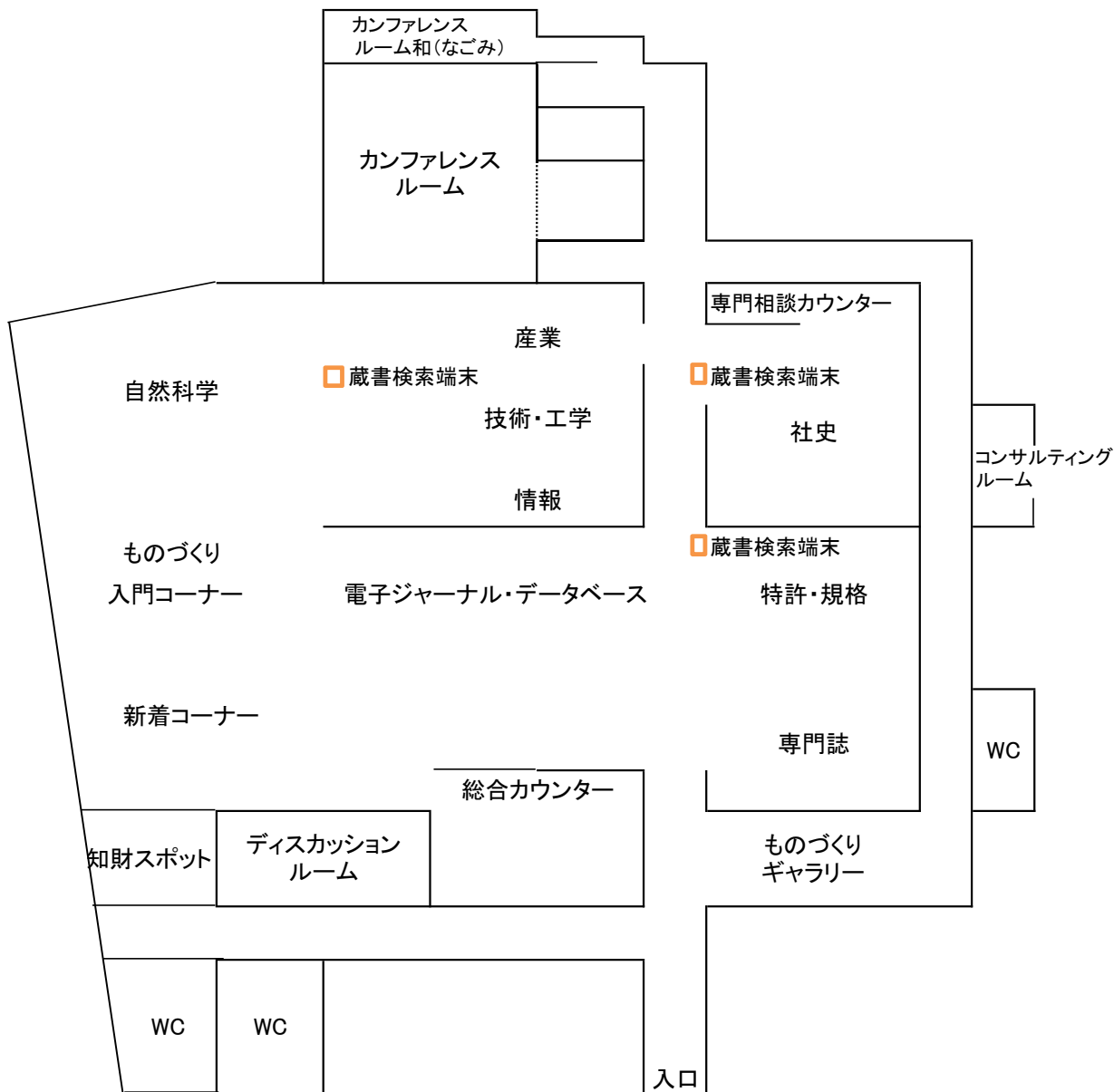
第 17 表 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 33 年度	63	27,488	—
34	278	142,623	2,068
35	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 (134)	139,462 (27,648)	103,860 (36,670)
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244
27	293	154,234	36,921
28	295	148,886	34,694
29	198	88,010	16,795
30	259	68,892	22,461
令和 元 年度	290	83,244	25,344
2	257	51,845	22,018

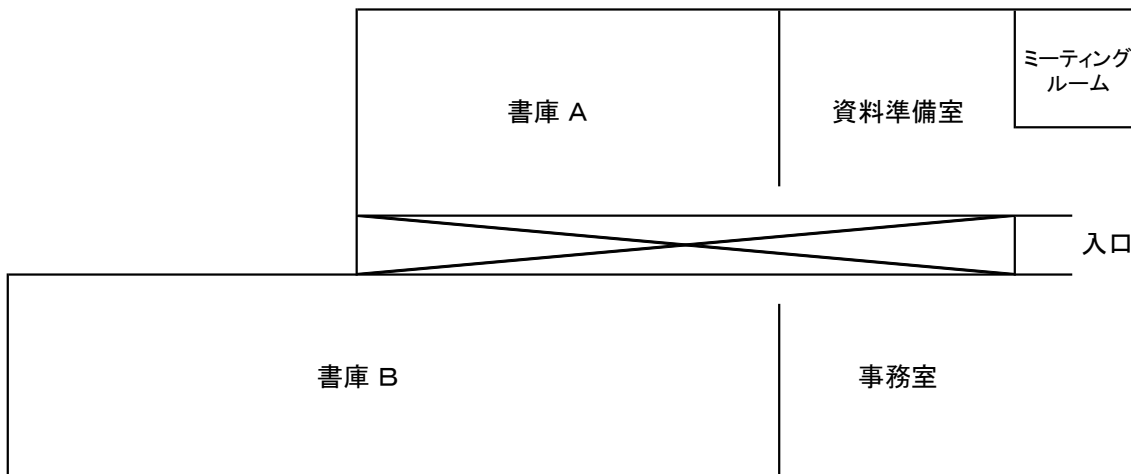
- ・昭和60年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は()内に内数で記入。
- ・平成9年度は、リニューアルのため12月から一部休館。1月から全面休館。
- ・平成29年度は、KSPへの移転のため、10月から一部休館、12月から全面休館。
- ・平成30年度は、KSPにおける開館準備のため5月中旬まで休館。
- ・令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため3月4日から一部サービス休止。

館内案内図

○図書館(西棟2階)



○書庫・事務室(R&D棟2階)





電車 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅下車
徒歩15分

バス ①KSPシャトルバス (平日: 午前10時以降、土祝休日: 始発から)
溝口駅 北口バスターミナル9番乗り場から「KSP行き」(直通) 約5分

②市営バス

溝口駅前 北口バスターミナル7番乗り場から

溝04系統、溝06系統、溝15系統、溝18系統 いずれも「高津中学校入口」
下車徒歩1分

令和3年度

神奈川県立川崎図書館要覧

令和3年12月発行

編集・発行

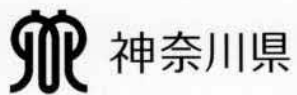
神奈川県立川崎図書館

館長 日比野 典明

川崎市高津区坂戸3丁目2番1号

電話 (044) 299 - 7825 (代表)

FAX (044) 322 - 8878



神奈川県立川崎図書館

川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D 棟 C-225 〒213-0012 電話(044)299-7825(代表)